



# 令和4年度 予算の概要 参考資料



学校法人愛知医科大学

# 令和4年度予算について ＜予算編成方針＞

## 学是「 具眼考究 」の実践実現

- ・ 学是の実践実現を念頭に置いて編成。

## 予算編成目標

- ・ 資金収支予算ベースでは経済変動の影響を柔軟に受け止めるとともに、いざというときの瞬発力となる繰越支払資金の具体的な目標金額を10億円とし、事業活動収支予算ベースでは、経常収支の黒字予算確保を図る。

# 令和4年度予算について

## 愛知医科大学中期計画(令和元年度～令和5年度)の実行

- ・ 令和元年度に策定した「愛知医科大学中期計画」(令和元年度～令和5年度)が4年目を迎える。

## 愛知医科大学メディカルセンターの更なる拡充

- ・ 地域の拠点となり、また教育病院として活用され、財政基盤の拡充を通じて本学の発展に資する。

## メディカルクリニックでのアイセンター(仮称)の設置

- ・ メディカルクリニックをアイセンター(仮称)に再編する事業。

# 事業計画の概況（1 / 4）

## 教育について(医学部・看護学部)

- Web会議やオンラインによる学外との双方向授業等に対応するため、ネットワークの回線速度を1Gbpsから10Gbpsに増強することで、速度の増加と安定化を図る。併せて1号館5階のマルチメディア教室のAV装置一式を高解像度化したものに更新する。
- 臨床実習(クリニカル・クラークシップA／B)において、現状の運用が抱える問題点を改善し、学生・教職員の利便性の向上を図るため臨床実習支援システムを導入。
- 臨床実習前OSCE公的化に向けた全国トライアルが令和4年度には実施されるため、そのトレーニングと実施に必要とされるシミュレータ機器計6台を整備。
- 看護学部の2か年計画2年目となる各講義室の視聴覚機器の更新を実施。映像や音声端子が時代遅れとなっていたものを最新の機器に更新し、ワイドスクリーン及び高解像度化やモニターの追加など、学習環境を整備。

# 事業計画の概況（２ / ４）

---

## 研究について

- 研究創出支援センターの中心的な業務を担う教員について、知識・技術を継承しながらセンターの発展に寄与できる人材を確保する。また、バイオバンクで必要となる自動セルカウンターや分光光度計を追加整備することで、学内研究者への基盤的な研究の支援体制とバイオバンクの強化を図る。

# 事業計画の概況（3 / 4）

## 診療について

- 平成26年に新病院として新たに整備した医療機器やシステムが更新時期を迎え、放射線機器を中心に更新計画を立案し、順次整備していく。
- 大学病院に求められる高い医療安全、危機管理の維持体制を構築するため、麻酔導入リカバリ室の生体情報モニタリング、iPadを使った生体情報モニタリングシステムや、RSS（院内急変迅速対応システム）管理室を充実させる。
- 手術における麻酔体制の安定確保を図るため、非常勤医師の活用に加え派遣麻酔医の受け入れなど、麻酔科医の負担軽減策を講じて麻酔科の体制強化を推進する。また、麻酔科医が行う手術室業務の軽減のため、NP（診療看護師）、臨床工学技士及び薬剤師の強化・活用を行い、手術件数の維持を図る。

# 事業計画の概況（４ / ４）

## メディカルセンター

- 建物関係では南館の内装のリニューアルを行うとともに、入り口の車寄せスペースの拡張と身障者用駐車場スペースにも屋根を増設し、患者の利便性向上を図る。
- 病院機能の整備では透析エリアを改修して収容ベッドを増やし、同時に感染患者対応個室を設置。
- ソフトウェア面では透析システムのほかに、検査システム、放射線、生理検査、内視鏡、文書管理システムなどのシステム整備を行い、業務改善、効率化を図る。

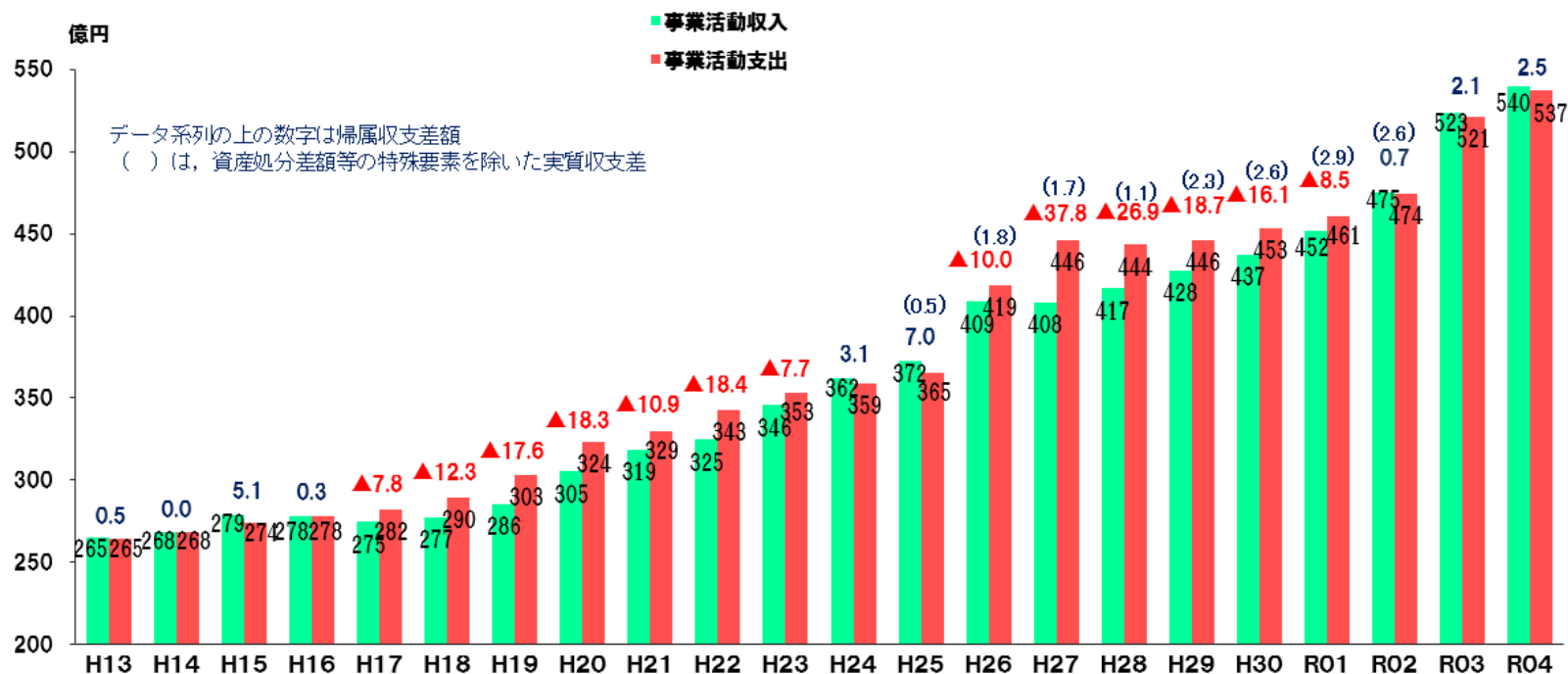
# 予算規模の推移

令和4年度の予算状況は、

**事業活動収入 539億8,977万余円**

**事業活動支出 537億4,062万余円**

となっており、事業活動収支差額は2億4,914万余円の黒字となっています。



※ 過年度の予算額は各年度当初予算額である。

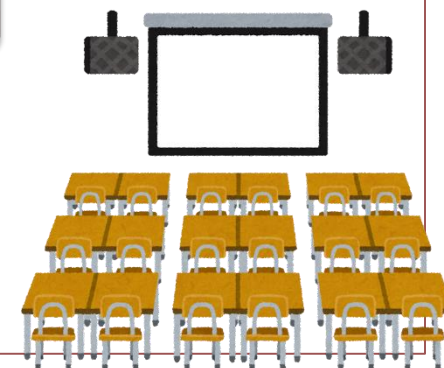
# 教育・研究に関する重点事業

## (1) 教育環境の整備

(総額77,773千円)

### 機材及びシステムの老朽化による更新

- 1号館5階のマルチメディアA・B教室AV装置
- 大学本館講義室のタッチパネル及びアンプ
- バーチャルスライド教育システム
- 救命処置トレーニングシミュレータ
- 学生ホール什器



### 医師国家試験対策システムを活用した演習システム環境の構築

- WEBで学生に試験を実施できる体制を構築する。

### 臨床実習支援システム(F.CESS)の導入

- 現行の問題点等を改善し、学生及び教職員の利便性向上を図る。

### 共用試験使用シミュレータの購入

- 臨床実習前OSCEが公的化されることに向け、共用試験使用シミュレータを購入し、準備を行う。

# 教育・研究に関する重点事業

## (2) 特定資産を財源とする事業

(総額12,725千円)

### 教育研究活性化引当特定資産を財源

- 医学部若手研究者に対する教育研究奨励助成を実施する。
- 看護学部若手研究者に対する研究助成を実施する。

### 国際交流推進引当特定資産を財源

- 外国人研究者に対する滞在費助成を実施する。



# 教育・研究に関する重点事業

## (3) 研究環境の整備

(総額117,349千円)

### 電子リソースの学外アクセス環境整備

- ・ 図書館の電子リソースの学外アクセスに関する環境整備をすることによりネットワーク接続における安全性の確保及び利用者の利便性向上を図る

### 装置の老朽化による更新

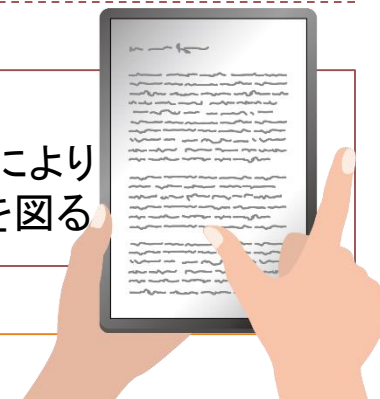
- ・ 病理組織標本自動固定包埋装置
- ・ 密閉式自動固定包埋装置

### レーザーキャプチャーによるピンポイント解析システム

- ・ 組織及び細胞内局所における遺伝子, タンパク質の発現, 修飾, 異常を解析するためのシステムを構築し, 医学研究の質的環境を整備する。

### 研究創出支援センターの研究機器整備

- ・ 自動セルカウンターや分光光度計を追加整備することにより, 学内研究者への基盤的な研究の支援体制の強化を図る。



# 教育・研究に関する重点事業

## (4) 研究活動の活性化

(総額57,795千円)

### 科研費管理システムの導入

- ・ 科研費管理に特化した管理システムを導入することで科研費の管理をより円滑に行う。

### 私立大学研究ブランディング事業

- ・ 健康維持・増進を支える次世代先制地域医療：炎症評価コホート研究を継続実施する。

### 研究創出支援センターの人員体制強化

- ・ 研究創出支援センター機能の発展とバイオバンクの体制をより強固なものとするため、研究創出支援センターの教員を増員する。



# 教育・研究に関する重点事業

## (5) 教員評価制度

(総額1,200千円)

### 教員評価制度の処遇反映

- ・ 処遇反映制度を導入することで、教員のモチベーション向上を狙う。



# 教育・研究に関する重点事業

## (6) その他

(総額3,135千円)

### ボディコンポジションアナライザーの導入

- 運動療育センターにボディコンポジションアナライザーを導入することにより、会員のメディカルチェックを定期的に行う。  
また、そのデータを研究に活かしていく。



# 本院の医療に関する重点事業

## (1-1) 教員・スタッフの増員

(総額61,102千円)

### 病理医の増員

- ・ 病理診断科による一括管理により、効率的にホルマリン固定を行う体制を確立するため、助教1名増員する。



### 社会福祉士及び精神保健福祉士の増員

- ・ 各事業の専従・専任要件や地域連携、退院支援・相談業務等に対応するため、社会福祉士及び精神保健福祉士を1名ずつ増員する。

### 臨床工学技士の増員

- ・ 高度医療機器への対応としてICU部門と危機管理部門にそれぞれ1名ずつ臨床工学技士を増員する。

# 本院の医療に関する重点事業

## (1-2) 教員・スタッフの増員

### 理学療法士の増員

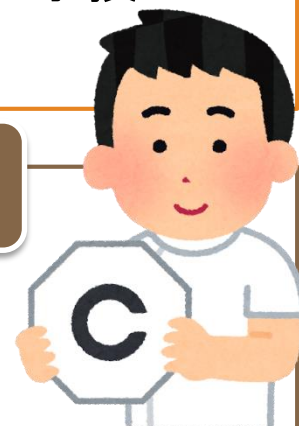
- ・ リハビリテーションニーズ増大と多様化に対応するため理学療法士を4名増員する。

### メディカルセンターへの人員配置に係るスタッフの増員

- ・ メディカルセンターへの人員配置に対応するため、臨床工学技士・管理栄養士を2名ずつ増員する。

### アイセンター(仮称)への人員配置に係るスタッフの増員

- ・ アイセンター(仮称)への人員配置に対応するため、視能訓練士を1名増員する。



# 本院の医療に関する重点事業

## (2) 手術体制支援対策

(総額393,784千円)

### 麻酔科の体制強化

- 手術における麻酔体制の安定確保を図るため、非常勤医師の活用に加え派遣麻酔医の受け入れなど、麻酔科医の負担軽減策を講じて麻酔科の体制強化を推進する。

### NP(診療看護師)の処遇改善

- 手術の場における役割拡大により、麻酔科医の負担軽減に資するNP(診療看護師)の処遇改善及び体制強化を図る。

### 臨床工学技士の増員

- 手術室の機器点検は臨床工学技士の業務であるが、麻酔科医が行っている場合も多いため、臨床工学技士を2名増員し手術件数確保を図る。

### 薬剤師の増員

- 麻酔科医が行っている麻酔導入医薬品準備業務の一部を薬剤師へタスクシフトするため、手術室サテライトファーマシーの薬剤師を1名増員する。



# 本院の医療に関する重点事業

## (3) 診療活性化対策

(総額77,260千円)

### 新任教員紹介広報

- 新たに就任した教授の紹介動画やパンフレットを作成し、地域の医療機関や患者へ広く広報することにより、患者数の増加を図る。

### 診療活性化対策費(病院長インセンティブ)の支給

- 病院長が入院外来診療報酬請求額の前年度対比を評価指標とし、各種項目を裁量評価することで、成果を挙げた診療科等に病院長インセンティブを支給する。



(※ 参考: 令和3年度版)

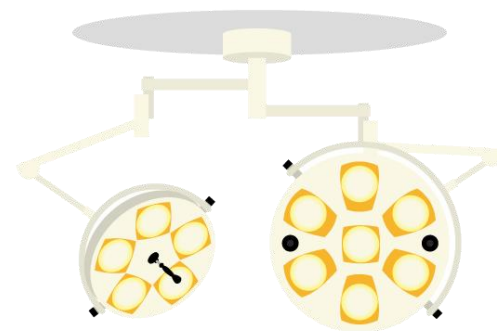
# 本院の医療に関する重点事業

## (4) 診療用機器の整備

(総額482,520千円)

### 機器の老朽化による更新

- X線CT診断装置  
⇒(2台:救命CT検査室, CT検査室)
- 一般撮影ポータブル撮影システム
- 手術室手術灯



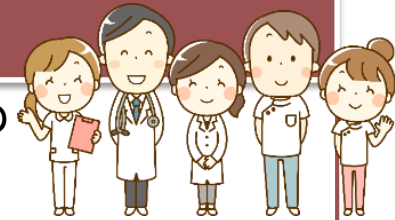
# 本院の医療に関する重点事業

## (5-1) 病院運営管理の強化

(総額149,869千円)

医師事務作業補助体制加算1(20対1)を算定できる体制の構築

- ・ 勤務医の働き方改革を推進し、質の高い医療を提供するため医師事務作業補助者を増員する。



夜間100対1急性期看護補助体制加算及び夜間看護体制加算を算定できる体制の構築

- ・ 看護師の働き方改革を推進するため、看護補助者を増員し、看護業務のタスクシフト・タスクシェアリングを進める。

ViTrac(iPadによる生体情報モニタリング)の導入

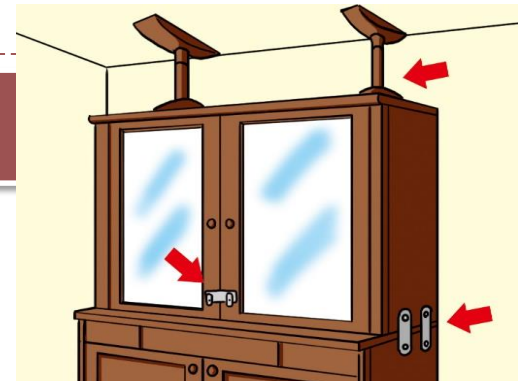
- ・ 病棟で看護師が端末を携帯することで、異常アラームを即座にキャッチし、患者安全向上を図る。

# 本院の医療に関する重点事業

## (5-2) 病院運営管理の強化

### BCP(業務継続計画)における災害対応事業

- ・ 災害対応事業として、地震への備えのための病棟の棚や家具の固定を行う。また、新型コロナ感染防止で使用する事となった災害用簡易トイレの補充を行う。



### RRS(院内急変迅速対応システム)の普及・拡大

- ・ 院内でさらなるシステムの浸透と教育を行っていくためにスポットチェックモニターをさらに充実させる。

### 医療情報システムにおける保守契約管理システムの導入

- ・ 管理を一元化することで、業務の効率化を図る。また、論理的、客観的なデータを用いて、業者との交渉に利用する。

# 本院の医療に関する重点事業

## (6) 病院システム更新関連

(総額708,814千円)

### システム機器の老朽化による更新

- ・ 機器試薬トータル販売システム機器
- ・ 麻酔導入リカバリ室生体情報モニタリングシステム
- ・ 中央臨床検査部の生理検査情報システム
- ・ NAVIT(患者案内端末)システム

### 高分解能CT用専用サーバ整備

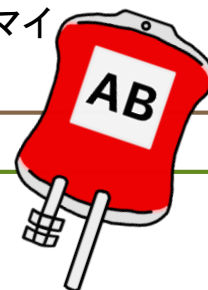
- ・ 令和3年に導入した高分解能CTの高精細画像を活用するため、保存容量が確保できるサーバを追加し、利便性の向上を図る。

### 放射線部門システムのカスタマイズ整備

- ・ 令和3年に更新した放射線部門システムについて、不具合が発生しているため、カスタマイズを行い、検査・治療の安全性を高める。

### 輸血システムの改修

- ・ 二次元バーコードで発注管理できるようシステム改修を行い、また他部署の検査技師でも夜間の業務に支障がないよう操作性を向上させて改修を行う。



# 本院の医療に関する重点事業

## (7) 継続事業

(総額79,999千円)

### 病院広報促進事業

- ・ 地域住民や連携病院，地域開業医への広報促進を図る。アピールポイントを積極的に対外発信することで，「救急医療といえば，愛知医大」というブランドイメージアップに努める。



### 認定看護師教育課程等受講に係る奨学金制度

- ・ キャリアアップを目指す看護師のための奨学金制度を充実させる。

### 先進医療推進事業

- ・ 病院の基本方針のひとつである「先進的医療技術の開発・導入・実践の推進」に従い，先進医療が認められるための実績づくりに必要な経費を予算措置し，確保する。

# メディカルセンターの医療に関する重点事業

## (1) 建物修繕

(総額499,345千円)

### 耳鼻咽喉科及び泌尿器科の外来整備

- ・耳鼻咽喉科の診察室と泌尿器科の診察室及び膀胱鏡室の整備を行う。耳鼻咽喉科については新たに開設する外来としての整備。

### 施設設備の老朽化による改修工事

- ・南館1階, 2階空調設備更新工事
- ・南館エントランスリニューアル工事

### 車寄せ・身障者駐車場屋根拡張工事

- ・南館入口の車寄せスペースが1台分しかなく、また、身障者用駐車スペースは屋根がない状態のため、増設・拡張工事を行い患者の利便性向上を図る。

### ゾーニング変更工事

- ・検査室のスペースが非常に狭いため、検査室等のゾーニング変更工事を行う。

### 透析センター改修工事

- ・ベッド不足により一部患者の透析を断っている状態のため、透析センター改修工事を行い、透析患者増加を見込む。



# メディカルセンターの医療に関する重点事業

## (2) 病院運営管理の強化

(総額58,165千円)

### 携帯端末ポケットチャートの導入

- ・ 携帯端末ポケットチャートを導入することで、ベッドサイドでの情報閲覧、バイタル入力、点滴の3点認証システムを実現し、医療事故のリスク軽減や算定漏れ防止、また医事課職員の残業軽減を図る。

### 再来受付機の更新

- ・ 現行の再来受付機は10年以上経過しているため、更新を行う。

### 自動精算機の更新及び会計表示盤・ポスレジの導入

- ・ 現行の自動精算機は故障が多いため買い替えを行う。  
また、ポスレジ・会計番号表示の導入も併せて行う。



# メディカルセンターの医療に関する重点事業

## (3) 病院システム更新関連

(総額177,302千円)

### 検査システムの更新

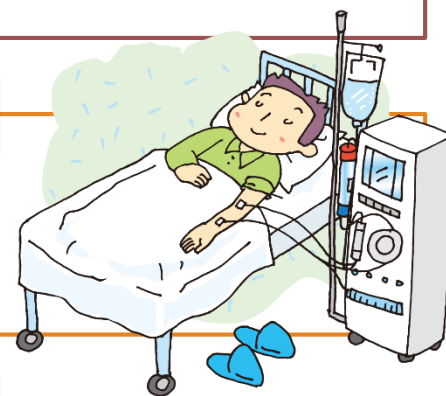
- ・ 検査システムについて、WindowsOSのバージョンが古いため更新する。

### 透析システムの更新

- ・ 透析システムが未導入のため、本院と同じシステムを導入する。

### 放射線、生理検査、内視鏡、文書管理システムの更新

- ・ 生理検査、内視鏡、文書管理はシステム未導入のため、システム導入を行う。また、将来的に中央受付を設置することを想定し、すでにシステムを導入している放射線も含めて一本化して導入を行う。

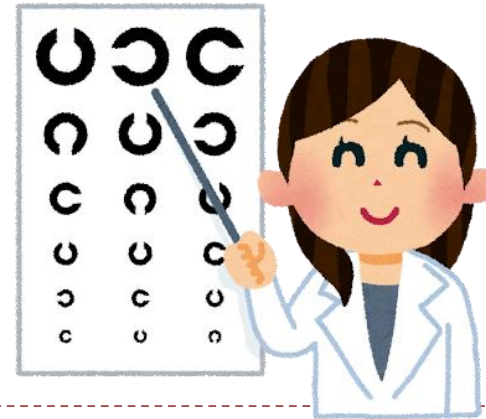


# アイセーター（仮称）の医療に関する重点事業

（総額531,109千円）

## アイセーター（仮称）の開設

- ・ 昭和58年に開院したメディカルクリニックをアイセーター（仮称）に再編する事業。総合的診療体制を見直し、新たにメニコン社との産学連携寄附講座（近視推進抑制）と眼科日帰り手術ラボを中心とした時代が求める治療・開発・臨床研究の拠点とする。



# 法人・大学運営に関する重点事業

## (1) 創立50周年記念事業

(総額598,975千円)

### 創立50周年記念事業

- ・ 本学は令和4年度をもって創立50周年を迎えるため、「創立50周年記念事業実行委員会」を設置し、各種記念事業を実施する。



### 教育・研究・診療の基盤整備(施設・設備)事業募金

- ・ 令和4年度に創立50周年を迎えるにあたり記念事業に係る募金を卒業生、在校生父兄、取引業者等に行う。  
募金目標額10億円(教育・研究・診療の基盤整備(施設・設備)事業資金)

### スターバックスの誘致事業

- ・ 令和4年度のオープンを予定。

### 学生食堂「レストランオレンジ」改修事業

- ・ 大学本館竣工と同時に開業し、老朽化が進んでいるため、全面リニューアルを行う。

### 医心館1階多目的ホールの増改築及び2階セミナー室の増設工事

- ・ 医心館2階の名城大学サテライト室を1階に移設し、そこにセミナー室4部屋を増設することで、医学部の学習環境の向上を図る。併せて1階は多目的ホールの増改築を行う。

# 法人・大学運営に関する重点事業

## (2-1) 建物修繕

(総額374,950千円)

### GT-1 非常用発電機エンジンオーバーホール等工事

- ・ 停電時に中央棟へ送電する非常用発電機が更新推奨時期(稼働後15~18年)を迎えるため、更新と部品交換を行い、機能回復と設備の信頼性を持続させる。

### 中央棟第1無停電電源装置蓄電池更新工事

- ・ 中央棟第1無停電電源装置(2系)において、点検の結果、蓄電池の劣化が認められたため、更新する。本装置は一瞬の停電が生命等への影響を与えないオペ、集中治療、救命、電カル等の系統へ電力を送電するもの。💡

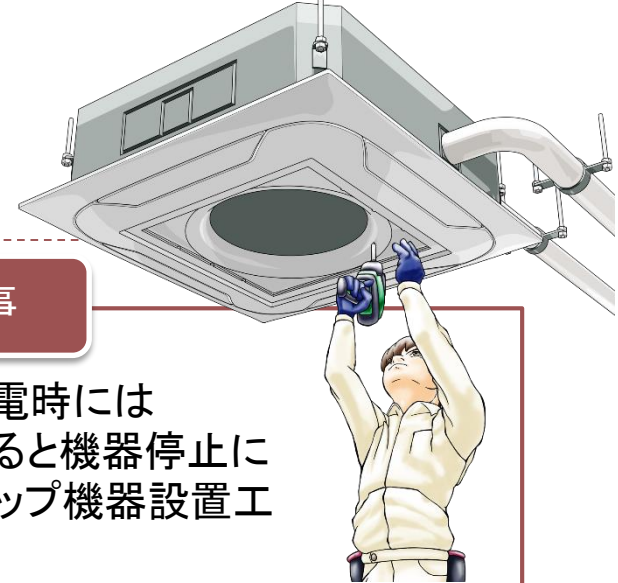
### D棟南側病室系統排水配管更新工事

- ・ D棟南側病室系統排水配管は設置より33年が経過し、腐食が進んでいる。更新工事を行うことにより、漏水事故による感染リスクからスタッフを守る。



# 法人・大学運営に関する重点事業

## (2-2) 建物修繕



### 中央棟2階検体検査室の空調設備バックアップ機器設置工事

- 検体検査室のエアコンは一般系統の電源供給のため、停電時には運転ができない状態で、停電時に検査機器が温度上昇すると機器停止に陥り、検査ができない恐れがあるため空調設備のバックアップ機器設置工事を行う。

### 5号館(総合実験研究棟)空調設備更新工事

- 設置から32年経過した5号館(総合実験研究棟)の空調設備を更新し、安定した動物飼育環境を確保し、省エネ効果も得る。(2年目／5か計画)

### 構内電力ケーブル更新工事

- 構内に張り巡らされている高圧電力ケーブルのうち、地中に埋設され耐用年数20年を超過した、交換必要優先度が高い4回線を更新する。(2年目／3か計画)

# 法人・大学運営に関する重点事業

## (3-1) その他

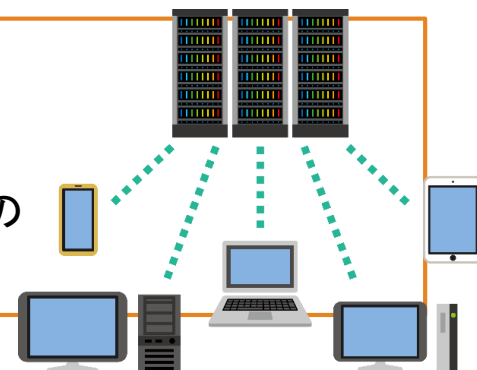
(総額1,083,562千円)

### 経営改革・イノベーション推進事業

- ・ 理事長直轄の組織である経営戦略推進本部において,  
1. 地域医療連携, 2. 救急体制の改革, 3. 働き方改革, 4. 財政基盤改革,  
5. 中期計画・中期目標, 6. その他 に取り組む。

### 情報通信システムの更新

- ・ 5年経過する現システムを更新し, 利便性及び安全性の向上を図る。①ネットワーク環境の整備, ②パソコン環境の整備,  
③事業継続計画(BCP)の対応, ④リモート保守, ⑤サーバ環境の整備



### 公式ホームページのサーバ入替及びデザインリニューアル

- ・ 4台のサーバが保守契約期間満了となるため新たに入れ替える。また, サーバの入替にあわせて, スマホサイトに重点を置いたデザインリニューアルを行う。

# 法人・大学運営に関する重点事業

## (3-2) その他

### 駐車場ゲート職員証読取回線更新工事

- 職員及び学生等の駐車場は、管理端末で利用者其々の権限を設定し、学内駐車場ゲートにPHS回線を介して情報送信しているが、PHS通信回線サービスが令和5年3月を以て終了するため、ソフトバンクの通信回線に更新する。

### 電話交換機設備オーバーホール工事

- 平成25年に稼働を開始した電話交換機が、メーカーの定める安定稼働寿命8年を経過しているため、各消耗部品と機器の更新を実施する。



### キャンパスエリア駐車場エリア舗装等工事

- 愛知・豊川用水振興協会との間で締結した協定書で、第2駐車場路面の不具合は本学が修繕を行う取り決めとなっており、同協会から修繕依頼を受けているため、工事を行う。